

令和3年度京都支部事業実施報告について

1. 令和3年度京都支部重点事業実施結果 … P 1
2. 令和3年度京都支部K P I達成状況 … P 2～P 18
3. 評議会における支部保険者機能強化予算の
策定スケジュール … P 19

令和4年7月11日
令和4年度 第1回評議会

1. 令和3年度京都支部重点事業実施結果

※評価は、K P I の達成度合いを
3段階 (◎○△) で表示

◎：完全達成 ○：概ね達成 △：未達成

項目	評価	頁	担当 グループ
1. サービス水準の向上	○	3	業務 グループ
2. 柔道整復施術療養費の照会業務の強化	◎	4	
3. 被扶養者資格の再確認の徹底	◎	5	
4. 効果的なレセプト内容点検の推進	◎	7	レセプト グループ
5. 返納金債権発生防止のための保険証回収強化、債権管理回収業務の推進	○	8	
6. 特定健診実施率・事業者健診データ取得率の向上	○	10	保健 グループ
7. 特定保健指導の実施率及び質の向上	△	11	
8. 重症化予防対策の推進	△	12	
9. コラボヘルス（健康経営）の推進	◎	14	企画総務 グループ
10. 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進	◎	15	
11. ジェネリック医薬品の使用促進	○	16	
12. 地域の医療提供体制への働きかけや医療保険制度改正等に向けた意見発信	◎	17	
13. 費用対効果を踏まえたコスト削減等	◎	18	

業務グループ

今後の事業課題

- ・ 令和5年1月からの各種給付金や適用関係申請書等の様式変更について、様々な周知広報活動により円滑に変更を進める

1. サービス水準の向上

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
<p>①サービススタンダードの達成状況を100%とする</p> <p>②現金給付等の申請に係る郵送化率を95%以上とする</p>	<p>① 100% サービススタンダードの達成状況を100%とする ※全支部一律に設定</p> <p>② 95.0%以上 現金給付等の申請に係る郵送化率を95.0%以上とする ※支部ごとに設定</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">評価 ○</div> <p>① 100% (全国44支部達成 全国平均99.9%)</p> <p>② 94.7% (全国25位 全国平均95.5%)</p>
平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績
<p>①100% (全国41支部達成：99.99%)</p> <p>②90.2% (全国13位)</p>	<p>①100% (全国39支部達成：99.92%)</p> <p>②91.6% (全国17位)</p>	<p>①100% (全国46支部達成：99.5%)</p> <p>②93.9% (全国22位)</p>
令和3年度実績・評価		令和4年度の事業展開
<p>① サービススタンダード対象の申請書においては、新型コロナウイルス感染症の影響で傷病手当金の受付件数が年間約4,500件増加（前年度比13.5%増）する状況であったが、日常的な進捗管理を徹底し、目標を達成した。また、受付から振り込みまでに要する平均日数も前年度の7.53日から7.08日に短縮できた。（全国平均 7.44日）</p> <p>② 支部ホームページやメールマガジン等で広報するとともに、電話での案内時にも郵送での手続きを推奨し、前年度の郵送化率（93.9%）を上回ることができたが、目標には及ばなかった。</p>		<p>① 受付から振り込みまでのサイクルを継続しつつ、受付件数の増加にも柔軟に対応できるよう、引き続き徹底した進捗管理によりサービス水準を維持していく。</p> <p>② 今年度予定されている各種申請書の様式変更に伴う、周知・広報活動に合わせて、郵送での手続き案内も積極的に実施し、郵送化率向上をめざす。</p>

2. 柔道整復施術療養費の照会業務の強化

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
<p>柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上<small>の施術の申請の割合について対前年度以下とする</small></p>	<p>1.28%以下 <small>柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上<small>の施術の申請の割合について対前年度以下とする</small></small> <small>※全支部一律に設定</small></p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 ◎</div> <p>1.12% <small>(全国41位 全国平均0.95%)</small></p>
平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績
<p>1.32% (全国40位) <small>全国平均1.25%</small></p>	<p>1.16% (全国38位) <small>全国平均1.12%</small></p>	<p>1.28% (全国39位) <small>全国平均1.12%</small></p>
令和3年度実績・評価		令和4年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で施術の自粛もあり、申請件数が前年度比で10%程度減少していたが、令和3年度においては前年度比6.4%増となり、申請件数は増加傾向に転じている。 一方、3部位15日以上<small>の施術については、前年度から約6%減少し、全申請書に占める割合が0.16ポイント減少し目標達成に至った。</small> 		<ul style="list-style-type: none"> 今年度においても、加入者への施術内容の照会を継続して実施し、適正な施術内容となるよう啓発を進める。 また、申請内容に疑義のある施術所に対しては文書指摘を行い、改善が見られない場合等については面接確認も視野に入れつつ、過剰施術の抑制に努める。

3. 被扶養者資格の再確認の徹底

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を92.7%以上とする	<u>92.7%以上</u> 被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を92.7%以上とする ※支部ごとに設定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 ◎</div> 92.7% (全国20位 全国平均91.3%)
平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績
83.6% (全国47位) 全国平均88.0%	90.3% (全国39位) 全国平均91.3%	92.3% (全国26位) 全国平均91.3%
令和3年度実績・評価		令和4年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> 被扶養者状況リスト未提出の事業所への催告について、文書による勧奨や支部独自で規模別・業態別に電話による勧奨を2回実施することで、目標を達成した。 		<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度の提出状況、及び勧奨内容と時期をあらためて分析し、有効な手段を立案することにより今年度も目標達成をめざす。

レセプトグループ

今後の事業課題

- ・ 事務集約等の支払基金改革の進捗把握
- ・ 診療報酬改定への対応含めた点検員のスキルアップ
- ・ 保険証未回収者への早期返納催告の徹底と未返納の多い事業所への周知
- ・ 債権の早期回収と保険者間調整の積極的な実施

4. 効果的なレセプト内容点検の推進

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
<p>① 社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率(※)について対前年度以上とする</p> <p>(※) 査定率 = $\frac{\text{レセプト点検により査定(減額)した額}}{\text{協会けんぽの医療費総額}}$</p> <p>② 協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの査定額を対前年度以上とする</p>	<p>① 0.351%以上 社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率について対前年度以上とする ※全支部一律に設定</p> <p>② 5,657円以上 協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの査定額を対前年度以上とする ※全支部一律に設定</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">評価 ◎</div> <p>① 合計 0.354% (全国17位) 基金 0.269% (全国8位) 協会 0.085% (全国29位)</p> <p>② 6,081円 (全国22位)</p>
平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績
<p>① 合計 0.368% (全国18位) 基金 0.286% (全国12位) 協会 0.082% (全国28位)</p> <p>② 3,258円 (全国39位)</p>	<p>① 合計 0.354% (全国18位) 基金 0.277% (全国15位) 協会 0.078% (全国34位)</p> <p>② 3,922円 (全国35位)</p>	<p>① 合計 0.351% (全国13位) 基金 0.277% (全国8位) 協会 0.074% (全国37位)</p> <p>② 5,657円 (全国19位)</p>
令和3年度実績・評価		令和4年度の事業展開
<p>内容点検は、①と②共にKPI達成となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は医療機関等からのレセプト請求の減少や点検員の出勤削減等新型コロナの影響が大きかった。令和3年度はその影響が緩和されたことに加え点検員のスキルアップや経験則が寄与した。特に高額査定事例件数が多くなり全体成績を押し上げた。協会部分の査定金額は、令和2年度の約1.3倍で直近5年間で一番高い1億1千6百万円となった。 		<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は、診療報酬改定と支払基金改革への対応が必要となる。その2点に対応しながら、目線をやや上げて引き続き高額査定を狙いKPI達成を目指す。支払基金は令和4年10月に事務集約を控えており支払基金としっかり対話しながら査定状況の把握もしていく。

5. 返納金債権発生防止のための保険証回収強化、債権管理回収業務の推進

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
<p>①日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を対前年度以上とする</p> <p>②返納金債権（資格喪失後受診に係るものに限る。）の回収率を対前年度以上とする</p>	<p>① 89.86%以上 日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を対前年度以上とする ※全支部一律に設定</p> <p>② 66.45%以上 返納金債権（資格喪失後受診に係るものに限る。）の回収率を対前年度以上とする ※全支部一律に設定</p>	<div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">評価 ○</div> <p>① 合計：85.21% (全国38位 全国平均84.11%) 一般：85.40% (全国38位 全国平均84.20%) 任継：81.10% (全国34位 全国平均81.70%)</p> <p>② 63.80% (全国27位 全国平均55.48%)</p>
平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績
<p>①合計：89.88% (全国91.57%) 一般：90.32% (全国92.02%) 任継：82.08% (全国80.87%)</p> <p>②65.13% (全国19位)</p>	<p>①合計：90.77% (全国93.04%) 一般：91.28% (全国93.56%) 任継：81.40% (全国81.23%)</p> <p>②75.12% (全国6位)</p>	<p>①合計：89.86% (全国45位 全国92.41%) 一般：90.25% (全国92.79%) 任継：81.48% (全国82.43%)</p> <p>②66.45% (全国23位)</p>
令和3年度実績・評価		令和4年度の事業展開
<p>保険証回収と債権管理は、①と②共にKPI未達成となった。</p> <p>① 保険証回収率は電子申請の影響からほぼすべての支部で未達成の中、京都支部も未達成であるが事業所向けの催告を強化したことにより、全国平均を上回り順位は45位から38位に上がった。</p> <p>② 返納金回収率は、保険者間調整等を積極的に実施したが、下期に高額債権が多く発生し年度内収納に間に合わなかった。</p>		<p>① 保険証回収は早期返納催告実施に加え、未返納の多い事業所への電話対応や日本年金機構と連携した周知も実施する。</p> <p>② 返納金回収は、高額債権への早期対応を心掛け、引き続き積極的且つ幅広く保険者間調整を実施する。訪問催告や法的手続き等も実施し債権回収に繋げていく。</p>

保健グループ

今後の事業課題

- データ活用とナッジを活かしたDMを融合した健診受診勧奨力の強化
- 大規模健診機関における特定保健指導実施件数の拡大
- 健診当日短時間面談による受診勧奨の強化

6. 特定健診実施率・事業者健診データ取得の向上

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
<p>①生活習慣病予防健診実施率を58.5%以上とする</p> <p>②事業者健診データ取得率を8.5%以上とする</p> <p>③被扶養者の特定健診受診率を31.3%以上とする</p>	<p>① 63.9%以上 生活習慣病予防健診実施率を63.9%以上とする ※支部ごとに設定</p> <p>② 5.6%以上 事業者健診データ取得率を5.6%以上とする ※支部ごとに設定</p> <p>③ 28.4%以上 被扶養者の特定健診受診率を28.4%以上とする ※支部ごとに設定</p> <p>①+②+③ 60.5%</p>	<div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">評価 ○</div> <p>① 61.3% (全国15位)</p> <p>② 6.0% (全国38位)</p> <p>③ 27.1% (全国21位)</p> <p>①+②+③ 55.9% (全国31位)</p>
平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績
<p>①58.4% (全国16位)</p> <p>② 3.4% (全国42位)</p> <p>③24.6% (全国26位)</p> <p>①+②+③ 53.1% (全国29位)</p>	<p>①60.3% (全国16位)</p> <p>② 3.4% (全国46位)</p> <p>③25.4% (全国26位)</p> <p>①+②+③ 54.7% (全国31位)</p>	<p>①57.7% (全国20位)</p> <p>② 7.5% (全国31位)</p> <p>③22.1% (全国33位)</p> <p>①+②+③ 55.6% (全国27位)</p>
令和3年度実績・評価		令和4年度の事業展開
<p>① 昨年比106% 実施機関3機関増、GISを活用したはがきによる個人勧奨の初めての実施(13会場8万3千件)、新規適用事業所等への受診勧奨業務委託により、コロナ禍でも昨年度比で実施率を伸ばした。</p> <p>② 昨年比80% 事業所への浸透が不十分であるため新スキームによる事業者健診取得は増加していない。委託による結果取得が困難である大規模事業所に支部長名の勧奨を強化することで結果獲得につなげ、KPI目標数値を達成した。</p> <p>③ 昨年比123% 高額会場費補助事業による新規地域・会場の開拓、GISを活用したはがき勧奨(80会場12万6千件)、市町村がん検診と特定健診の同時実施(京都市・福知山市・舞鶴市)を着実に実施することで、コロナ禍でも昨年比で実施率を伸ばした。</p>		<p>① 昨年までの事業を着実に進めるとともに、事業所検索機能等本部からの提供データを活用した勧奨強化、上限撤廃した健診推進経費の有効活用により、実施率目標の達成を目指す。</p> <p>② 新様式の契約書を事業所へ送付するなど新スキームの定着を図るとともに、委託健診機関との連携を密にすることにより結果取得の取りこぼし防止する。支部長名文書による勧奨のさらなる拡大により実施率目標の達成を目指す。</p> <p>③ 支部の広報方針と連動し、ナッジを生かしたDM作成による勧奨訴求力向上により広く特定健診を周知する。そのうえで、高額会場費補助事業のリニューアル、骨密度検査費用補助などのオプション付き健診の強化、市町村がん検診との同時実施拡大(今年度は宇治市と連携し施設での同時実施を行う)により、実施率目標の達成を目指す。</p>

7. 特定保健指導の実施率及び質の向上

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
①被保険者の特定保健指導の実施率を25.0%以上とする ②被扶養者の特定保健指導の実施率を8.0%以上とする	① <u>20.2%以上</u> 被保険者特定保健指導の実施率を20.2%以上とする ※支部ごとに設定 ② <u>16.3%以上</u> 被扶養者特定保健指導の実施率を16.3%とする ※支部ごとに設定 ①+② 20.0%以上	<div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">評価 △</div> ① 17.6% (全国30位) ② 9.2% (全国31位)
平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績
①11.8% ② 4.6% ①+② 11.5% (全国41位)	①15.8% ②14.6% ①+② 15.8% (全国37位)	①12.5% ② 7.9% ①+② 12.3% (全国40位)
令和3年度実績・評価		令和4年度の事業展開
① 昨年比141% 支部からの指導受診勧奨目標（月800事業所2,000人）を着実に実施するとともに、ICT面談の利用拡大、大規模事業所への様々な方法での勧奨、委託先専門機関の柔軟な活用（支部勧奨分を専門機関でICT面談実施など）、契約健診機関の進捗確認強化により、昨年度比では大幅に初回面談の件数を増加させた。しかしながら、コロナ禍での訪問指導拒否も多く、目標達成には至らなかった。 ② 健診、保健指導担当者連携による、集団健診会場での当日保健指導実施拡大や、オプション付き保健指導による支部呼び出し強化により、昨年度比で実施率を増加させたが、目標達成には至らなかった。		① コロナ禍でも毎年実施率が増加している、契約健診機関での特定保健指導を更に伸ばすため、本部提供データを活用して、規模のわりに指導実施率が低い機関を訪問のうえ、組織としての体制強化の必要性を訴求する。更に遠隔面談実施の際の事務の効率化、継続指導委託機関へのスムーズな連携により、遠隔面談を効果的に実施する。また、目標とする受診勧奨件数を維持しつつ、内部事例のフィードバックにより、指導の日程調整率を上げることで、支部からの初回面談件数を増加させる。 ② いままでの対策を着実に実施するとともに、集団健診において、保健指導実施率を重視することで契約健診機関の進捗管理を強化して、実施率目標達成を目指す。

8. 重症化予防対策の推進

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
<p>受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を11.8%以上とする</p>	<p><u>11.8%以上</u> 受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を11.8%以上とする ※支部ごとに設定</p>	<p style="text-align: right;">評価 △</p> <p>8.9%(全国39位)</p>
平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績
<p>9.5% (全国21位)</p>	<p>10.2% (全国27位)</p>	<p>9.5% (全国37位)</p>
令和3年度実績・評価		令和4年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍で京都府、各保健所の重症化予防対策会議が非開催や書面開催となり、府と一体となった対策が実施できなかった。また、コロナ禍での受診控えも重なり、文書による受診勧奨が功を奏さず、受診率は伸び悩んだ。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 今後実施される京都府の重症化予防対策会議等に積極的に出席し、府と一体となった対策を再構築する。また、令和2年度までパイロット事業として実施した健診当日の短時間面談を、血圧値高値者の接触を確実にを行う方向で実施することで、健康への意識が高まる健診当日を活用した受診勧奨を強化する。また、ナッジを活用した視覚的にわかりやすい受診勧奨DMを送付することで、確実に受診につなげる。

企画総務グループ

今後の事業課題

- ・ 多様な広報媒体を活用した戦略的な広報活動の展開
- ・ 健康経営チャレンジプログラムの更なる推進
- ・ ジェネリック医薬品の安全性確保及び供給状況を踏まえた使用促進

9. コラボヘルス（健康経営）の推進

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
健康宣言事業所数を57,000事業所以上とする	700事業所以上 健康宣言事業所数を700事業所以上とする ※ <u>支部ごとに設定</u>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 ◎</div> 787事業所 (参考) 健康経営優良法人 274社
平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績
健康宣言事業所数：355事業所 (参考) 健康経営優良法人：51事業所	健康宣言事業所数：458事業所 (参考) 健康経営優良法人：95事業所	健康宣言事業所数：615事業所 (参考) 健康経営優良法人：160事業所
令和3年度実績・評価		令和4年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> ● 健康宣言事業の見直しを行い、新たに保健指導実施率目標の必須化と事業所健康度カルテを活用した宣言事業所におけるPDCAサイクルに基づく健康づくりの取り組みを支援。 ● 健康講座の実施（94社）、健康測定器の貸出（158社）、事業所健康度カルテの配付（1,681社）等の健康経営サポート事業を実施。 ● 見直し後の宣言事業について、商工三団体等と連携した事業案内等により、健康宣言事業所及び健康経営優良法人認定事業所の大幅な増加に繋げることができた。 		<ul style="list-style-type: none"> ● ①健康保険委員の登録、②健康事業所宣言、③健康経営優良法人認定と段階的に健康経営に取り組む「健康経営チャレンジプログラム」の普及促進に取り組む。 ● 従来より連携している京都府、商工三団体等に加えて、新たに労働局や産業保健総合支援センターと連携してメンタルヘルス対策等の取り組みを推進する。 ● 支部が積極的に健康づくりの取り組みをサポートするモデル事業を実施し、そこから得られた好事例を横展開する。

10. 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
<p>全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を46%以上とする</p>	<p><u>42.2%以上</u> 全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を42.2%以上とする ※支部ごとに設定</p>	<p style="text-align: right;">評価 ◎</p> <p>44.6% (全国38位)</p>
平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績
<p>33.2% (全国43位)</p>	<p>37.9% (全国42位)</p>	<p>41.7% (全国40位)</p>
令和3年度実績・評価		令和4年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> ● 事業所の規模や健診受診率等の状況に応じて、事業所健康度カルテや健康講座等のメリットをアピールした案内を行うことで、目標を大きく上回る実績となった。 ● KPIについて、伸び率は2.9%と全国15位となっている一方で、全国順位は38位となっており、委嘱者数の更なる拡大が課題。 ● 健康保険委員に対しては、事業所健康度カルテ等を活用して健康経営をサポートするとともに、コロナ禍を踏まえてWEB研修会や専用広報誌等を活用して制度周知に取り組んだ。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 令和4年度も引き続き事業所の状況に応じた勧奨やサポート事業の案内等と併せた勧奨を行うことで、委嘱者数の更なる拡大を図る。 ● 健康保険委員の活動強化としては、従来から実施している研修会等に加えて、新たに対話集会等を開催して健康保険委員同士の情報交換の場を設定し、健康経営の推進と健康保険制度の理解促進に取り組む。

11. ジェネリック医薬品の使用促進

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
<p>ジェネリック医薬品使用割合80%という目標に向けて、年度末の目標値を支部ごとに設定する。ただし、ジェネリック医薬品使用割合が80%以上の支部については、年度末時点で対前年度以上とする</p>	<p>77.3%以上 ジェネリック医薬品使用割合（*）を77.3%以上とする ※支部ごとに設定</p> <p>* 医科、DPC、歯科、調剤</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 ○</div> <p>77.3%（全国43位） ※R4.2診療分</p>
平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績
<p>72.8%（全国39位） ※H31.3診療分</p>	<p>75.3%（全国43位） ※R2.3診療分</p>	<p>77.1%（全国43位） ※R3.3診療分</p>
令和3年度実績・評価		令和4年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> ● ジェネリック医薬品の安全性確保や供給不安の状況を踏まえて、加入者への軽減額通知及び病院、薬局に対する情報提供を、従来の年2回から年1回に縮小して実施。 ● 新たにプレスリリースや特設WEBページによる広報を実施するとともに、ヘルス博Kyotoで日本ジェネリック製薬協会と連携した動画広報を実施。 ● KPIについては、概ね達成ではあるが、全国平均の80.5%（R4.2月診療分）とは大きく開きがあり、京都府等の関係団体と連携した更なる取り組みが課題。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 年2回（8月、2月）の軽減額通知に加えて、支部独自に軽減額通知を送付することで、更なる使用促進を図る。 ● ジェネリック医薬品の安全性確保及び供給状況を踏まえて、関係団体と連携したジェネリック医薬品使用促進事業に取り組む。また、京都府後発医薬品重点地域使用促進モデル事業や保険者協議会と連携した取組を実施する。 ● 定期広報誌やWEB広告等を含めた多様な広報手段を効果的に組み合わせ、インセンティブ制度の周知と併せた広報を行うことで、ジェネリック医薬品の使用促進を図る。

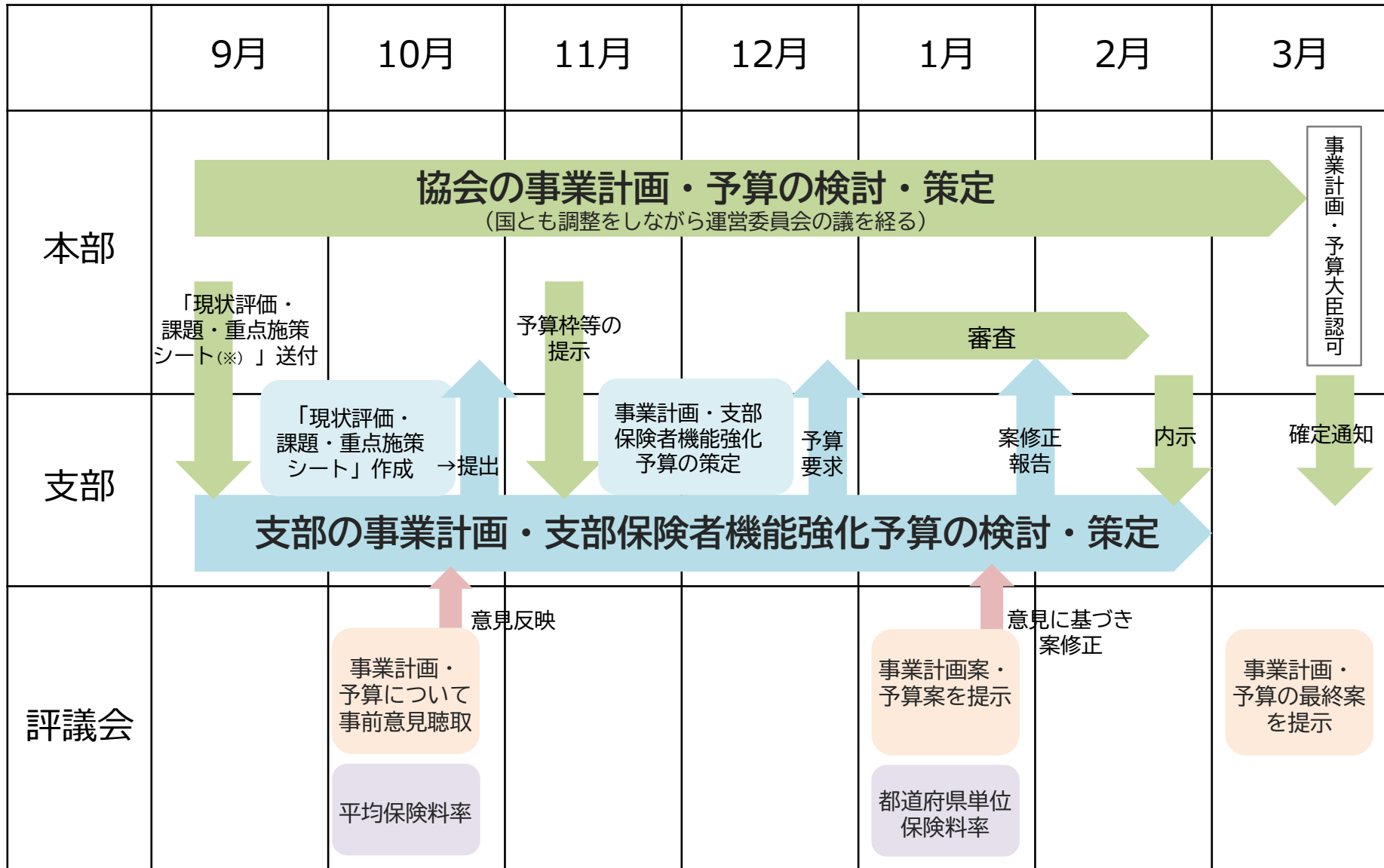
1 2. 地域の医療提供体制への働きかけや医療保険制度改正等に向けた意見発信

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
<p>効率的・効果的な医療提供体制の構築に向けて、地域医療構想調整会議や医療審議会等の場において、医療データ等を活用した効果的な意見発信を、全支部で実施する</p>	<p>意見発信の実施 効率的・効果的な医療提供体制の構築に向けて、地域医療構想調整会議や医療審議会等の場において、医療データ等を活用した効果的な意見発信を実施する ※全支部一律に設定</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 ◎</div> <p>意見発信実施</p>
平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績
<p>実施なし</p>	<p>実施</p>	<p>実施なし</p>
令和3年度実績・評価		令和4年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症の影響で地域医療構想調整会議の多くが中止となる中、令和3年12月に開催された医療審議会において、乳幼児の時間外、深夜受診の割合が全国より高い状況を踏まえて、小児救急電話相談事業（#8000）の更なる活用に向けた意見発信を実施。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 京都府と連携して、協会けんぽ、国保、後期高齢を合わせたデータ分析を行い、京都府民の健康課題に応じた取り組みを実施する。 ● 各種データ分析の結果等について、加入者へ医療費適正化に向けてわかりやすく情報発信するとともに、地域医療構想調整会議等の場で効率的かつ効果的な医療提供体制の構築に資するようにエビデンスに基づく意見発信を行う。

13. 費用対効果を踏まえたコスト削減等

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
一般競争入札に占める一者応札案件の割合について、20%以下とする	20%以下 一般競争入札に占める一者応札案件の割合について、20%以下とする ※全支部一律に設定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 ◎</div> 0.0% (0/18件) (全国1位)
平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績
15.4% (全国14位)	23.6% (全国27位)	14.3% (全国31位)
令和3年度実績・評価		令和4年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> 前年度に一者応札を含めた応札者が少ない調達案件を中心に、多くの事業者が参加できるように仕様書等を見直すとともに、他支部や官公庁等の調達情報を確認して、競争参加可能と考えられる事業者への声掛けを徹底したことで、一者応札0件を達成できた。 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き競争参加に向けた事業者への声掛けを徹底するとともに、調達期間をできる限り長く確保することにより、より多くの事業者の参加を促して、競争性の確保に取り組む。

3. 評議会における支部保険者機能強化予算の策定スケジュール



※ 本部・支部の連携により、支部ごとの課題を明確に共有して課題解決を図ることを目的とした、医療費・健診情報等の分析に基づく支部ごとの現状・課題・重点施策をまとめたシート